

事務事業評価表

○基礎情報

課名		契約検査課	作成責任者
施策目標	75	効率的で公正に入札・契約を執行する	根岸 恵子

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工
1 人	10 人	0 人	0 人	0 人	11.00 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
630 時間	5.3 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H29年度	H30年度	R元年度
入札における一般競争入札の割合	61.0%	65.0%	59.8%	51.5%	70.6%
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	透明性・公正性・公平性・競争性を確保した入札・契約の執行
2	優良な公共調達
3	0
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

2 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった

B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない

E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない

実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)											Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事 者数	会計 区分	H30予算(円) H30決算(円)	R元予算(円) R元決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生 (対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	R元目標値	R元実績値	評価	取組 時間	事務 改善	休・ 廃止
1														
2							政策的事業 無し							
3														
4														
合計					R元予算(円) R元決算(円)	0 0								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
<p>施策指標である入札における一般競争入札の割合について、工事及び工事に係る委託については、基本的に一般競争入札を実施しているが、物品等の調達における入札については、段階的に指名競争入札から一般競争入札に移行を図っている。令和元年度の実績は、前年度と比較し19.1ポイント上昇した。要因は、施設整備に関連する物品等調達において、指名競争入札による調達案件数が減少したため、相対的に指名競争入札の割合が減少したことによる。</p> <p>契約検査課の令和元年度の事務事業数は13事業あり、政策的事業は0である。</p> <p>事務事業のうち、小規模修繕契約事業については、前年度と比較し、小規模修繕登録事業者への発注割合が1.97ポイント減少し、発注金額についても減少した。発注金額の減少は全体金額が減少していることに起因するが、市内業者の受注機会の拡大を図ることを目的とした事業であるため、全庁的な周知等を通じ、小規模事業者の活用を働きかけていく。</p> <p>総合評価落札方式事業については、「子ども未来応援基金への寄附実績の有無」を評価項目に追加し、また、工事品質のより一層の向上を目的として、技術者の能力の評価項目に「優良建設工事表彰の受賞実績」を追加した。今後は、件数だけでなく、一定の工種に片寄ることのない幅広い工種において入札を行うことができるよう取り組む。</p> <p>契約規則等の見直しについては、改正が必要とされ、平成18年度からの長年の懸案事項となっていたが、年度当初より課員全員で全条文を見直し、1年をかけて文書法務課と協議を重ね、年度末に改正を達成することができた。</p> <p>電子入札システムの運用(担当課執行の電子入札利用拡大)については、マニュアルの整備、全庁職員を対象とした説明会を実施し、令和元年度は担当課の自課執行分について13件の試行をすることができた。今後は、本格的な運用に向け、体制の構築に取り組む。</p> <p>職員の時間外勤務は、総時間で630時間、一人当たりに換算すると月平均5.3時間であり、前年度と比較して、総時間は、526時間の削減、1人あたりの月平均は4.3時間削減できた。契約検査課の業務は、相手から依頼受けての業務が多いため、時間外勤務数のコントロールが難しいところもあるが、令和元年度の時間外勤務時間を削減できた理由は、各担当者の業務スケジュールの管理や時間外勤務削減への意識によるものである。</p> <p>令和2年度は、コロナ禍での公共工事の発注ではあるが、市内事業者とできるだけ意見交換を交える機会を設け、市内事業者の活性化及び育成に取り組む。</p>	

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
		政策的事業 無し

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
		政策的事業 無し